

モニタリング結果報告書

施設 設 県立音楽堂

指定管理者 公益財団法人神奈川芸術文化財団

施設所管課 県民局くらし文化部文化課

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月19日	改善すべき業務等なし
11月	12月10日	12月18日	改善すべき業務等なし
12月	1月12日	1月19日	改善すべき業務等なし
1月	2月10日	2月19日	改善すべき業務等なし
2月	3月10日	3月19日	改善すべき業務等なし
3月	4月12日	4月19日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

利用者サービス向上を図るため以下の対応等を提案した。

①開館日・時間の柔軟な設定

②苦情の多い女性トイレの数不足などへの人的ソフト面での対応

<実施状況>

①休館日の臨時開館(6日間)、早朝からの開館、夜間延長(午前8時台、計14日、午後9時以降、計7日間)

②耐震補強工事の際に合わせて、女性トイレの数の増と男女トイレの改修を行ったが、なお数の不足しがちな女性トイレについては、主催公演時に引き続き人的な誘導案内を行った。

<提案内容の概要>

音楽堂の設置目的と歴史を深く理解し、ノウハウ等を活かした事業企画の実施を提案した。

①音楽堂の特性とノウハウ等を活かした企画事業の実施

②鑑賞型の公演に付随したアウトリーチ・プログラム等の実施

③外部資金確保の努力

<実施状況>

①秋から新春にかけて音楽堂独自企画公演及び55周年記念音楽堂バロック・オペラ公演を実施。

10月 井上道義の上り坂コンサート Vol. 9 入場者数 441名

11月 音楽堂で聴く聲明《西行マンダラ》 入場者数 894名(チケット完売)

12月 第44回クリスマス音楽会「メサイア」演奏会 入場者数 867名(チケット完売)

2月 音楽堂バロック・オペラ パーセル作曲「アーサー王」2公演 入場者数 1,450名

上記を含む自主事業6演目 10公演(アウトリーチ、負担金共催を含む)、共催事業8演目 12公演を実施。共催事業では、神奈川フィルの「聖響音楽堂シリーズ」が新たにスタート。

地元オペラ団体との連携による「オペラ・ガラ・コンサート」(負担金共催)、相模原市との連携による「相模原室内合奏団演奏会」をそれぞれ実施。

②音楽堂バロック・オペラに関連した古楽ミニ・コンサート付きバックステージツアーを実施。

近隣の小学生 202名が参加。また各公演時にプレトークや終演後のサイン会を実施。

10~12月 音楽堂ふれあいアウトリーチ

相模原養護学校、みどり養護学校分教室、鶴見養護学校分教室 入場者数 370名

③大規模公演であるバロックオペラ「アーサー王」の実施にあたり、外部資金確保に努めた。

(地域創造 900万、アサヒビール芸術文化財団 50万、芸術文化振興基金 450万)

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額				支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他 収入			
年間予算額	301,685	190,522	34,000	77,163	301,685	0
上半期計 (a)	132,524	90,330	16,940 (13,173)	25,254	115,704	16,820
下半期計 (b)	171,486	100,192	19,128 (0)	52,166	188,302	△16,816
10月	19,636	15,371	3,414 (0)	851	18,073	1,563
11月	20,248	12,889	3,301 (0)	4,058	35,068	△14,820
12月	34,801	21,172	3,428 (0)	10,201	33,172	1,629
1月	18,869	12,580	2,359 (0)	3,930	18,640	229
2月	26,604	13,948	2,104 (0)	10,552	24,096	2,508
3月	51,328	24,232	4,522 (0)	22,574	59,253	△7,925
合計 (a+b)	304,010	190,522	36,068	77,420	304,006	4

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
- 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

※ 平成20年度音楽堂の休館について

平成20年9月から平成21年3月までの耐震補強工事の実施に伴い、7か月間休館したため利用料金収入は5か月間の合計となっている。

(今期に行った資本的な収入及び支出等の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	72,477 人	73,290 人	△1.1%
下半期計 (b)	78,977 人	—	—
10月	14,744 人	—	—
11月	18,144 人	—	—
12月	12,039 人	—	—
1月	6,260 人	—	—
2月	13,230 人	—	—
3月	14,560 人	—	—
合計(a+b)	151,454 人	73,290 人	—

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

※ 平成20年度音楽堂の休館について

平成20年9月から平成21年3月までの耐震補強工事の実施に伴い、7か月間休館したため5か月間の合計となっている。

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	0	0	0	0	4	4
11月	0	0	0	0	5	5
12月	2	0	0	0	605	607
1月	0	0	0	0	6	6
2月	0	1	0	0	3	4
3月	0	0	0	0	8	8

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・トイレに関すること（53件）	耐震補強工事に併せて実施した客席用女子トイレの増について、利用者の皆様は好意的である。トイレの改修、数の増加がうれしいというご意見があった。
	・座席が狭い（59件）	建築構造上、変更改修が難しい。
	・空調が良くない（28件）	空調については微妙な温度管理を常に行っているが、体感温度の差など、全てについて対応することは難しい。
	・エレベーター・エスカレーター設置、バリアフリー（6件）	構造上、改修が難しい。
	・点字ブロックを図書館、青少年センターと統一してほしい。	3施設で協議することとした。
職員対応	・ ・	
事業内容	・	
その他	・ ・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
10月15日	共催事業「音楽堂・おかあさんコーラス」の出場者（80歳女性）が客席内の階段で転倒。右足に裂傷。 ○公立文化施設災害補償保険の見舞金で対応。 アナウンスで注意を呼び掛けること、客席内の階段に、黄色と黒の縞模様のテープなどを貼り、視認性を高める、誘導係員の配置などの対応を行っている
1月17日	貸し館観客2名（70歳女性、77歳女性）が客席階段で転倒。 ○公立文化施設災害補償保険の見舞金で対応。 アナウンスで注意を呼び掛けること、黄色と黒の縞模様のテープなどを貼り、視認性を高める、誘導係員の配置などの対応を行っている。
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

〔 事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。 〕

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

〔 1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。 〕

指定管理者	<p>○舞台天井反射板に反りが発生しており、舞台吊物の動作に影響が出たため、ガイドローラー等を設置し、事故防止とした。</p> <p>○耐震補強工事に併せて実施したトイレの数の増など、改善されている課題も少なくないが、なお、ホールや備品等の老朽化により、各種保守点検での指摘事項や、小破修繕箇所も多数出ている。</p> <p>また、高齢者がホール内の段差・階段で転倒しけがをする事例もあいついでいる。</p> <p>課題の内容を精査し優先順位をつけて、随時、修繕・更新を検討すると共に、細かな工夫を重ね、安全で、少しでも快適なホールであることを目指している。</p> <p>○利用者の要望に応え、開館日や利用時間など可能な限り弾力的な対応をし、利用料収入増につなげている。</p> <p>○12月には、業務用駐車場の柵にかけてあったプラスチックのプレートが燃やされる不審火があり、自動点灯ランプを設置したうえ、周辺他施設にも呼びかけるなど、防犯対策を立てている。</p>
施設所管課	<p>○主催公演において、チケットが完売となるなど、県民の鑑賞ニーズに的確に応えようとする努力が効果として現れている。</p> <p>引き続き、音響の良さや建築学的価値から特別な芸術空間として広く親しまれている音楽堂という中規模ホールにふさわしい、高い水準の公演を実施し、県民に良質な文化芸術の鑑賞機会を提供し、高い芸術性を有する新しい舞台を創造し発信し続けていきたい。</p> <p>○開館から55年を超え、老朽化が進む施設であり、指定管理者には、引き続き、施設・設備の保守・点検について万全を期し、来場者等の安全、安心が確保できるよう、留意して、管理・運営にあたっていただきたい。</p> <p>県と指定管理者で、老朽化については、検討・協議を行い、課題を整理し、施設・設備類の改修、修繕、更新を行っていかなければならない。</p> <p>○施設・設備面での制約を踏まえつつ、その施設特性を活かした管理運営に努め、利用率、利用者数、利用料金収入の向上につなげていただきたい。</p>